

しなやか通信 第44号

2013年 夏

輝き続けることを望み手作りの活動を！

発行 しなやかシニアの会

事務局 リュエルしなやか

住所: 520-0043 大津市中央1丁目9-3

電話/FAX : 077(558)7233

e-mail: shinayaka077@nifty.com

HP: <http://www.shinayakashinia.com/>

リュエルが今の場所に移って間もなく一年となります。お盆休みの暑い時に引っ越しをしたことが懐かしく思い出されます。と云える位ずっと前からここにいるかのように馴染んでおり、多くの方に利用されています。

いろいろな催しをリュエルで行えるようになり、更に新たな自主倶楽部も出来ています。例えば麻雀倶楽部、頭の運動にも役立ち、みんなとの会話も弾んで楽しそうです。他にも、女性中心に「ちくちく」や「ニット

カフェ」など、少しずつ動き始めています。1人では出来ないこと、一人ではつまらないことを皆と一緒にすることで、本来の目的だけでなく高齢期を取り巻くいろいろな情報を得ることもつながっているようです。健康から、超お得情報まで満載です。

心が固くならないように、相田みつをの名言「一生青春、一生勉強」を地で行く活動を皆様と共に続けていきたいと思っています。

2013年度の活動も、多くの会員の皆様に継続頂き、4月よりスタートしました

*日本新薬山科植物資料館



*本藍染雅織工房見



5月には、「会員の集い」ということで、久しぶりに郊外に。盛りだくさんの訪問箇所、ちょっと混乱もあったけれど、お天気に恵まれた1日でした。訪問2か所の写真と、見学報告です。

*高齢者専用賃貸住宅「ハウスセゾン京都山科」見学

しなやかシニアの会は、テーマの一つとして数年前から高齢者の共同住宅を取り上げて一緒に考えてきました。5月24日、山科にある高齢者住宅を見学しました。この物件を選んだのは、町の中にありアクセスがよく、個室も2DKで、入居金や月々の管理費も比較的安価だったからです。そこは古いマンションを不動産業者が一棟買い取ってリフォームしたので、新築より安く提供できたのだそうです。元々家族の生活の場として機能していた為に、部屋も広く、滞在するというよりは生活の場という感じでした。経営母体が不動産会社なので、アクセスの良い場所を選び、高齢者向きにリフォームする等その特徴を生かして運営していると感じました。

高齢者住宅には宗教・医療法人、その他異業種からの参入があり、それぞれに違いや特徴を感じます。不動産関係の場合、建物や人の管理が得手のようです。毎日の健康チェックは部屋のゴミ回収に廻る時に声をかけてしてさりげなく行われていました。医療系なら血圧や体温を測るのかもしれませんが、宗教系は精神面の配慮が生き届いているのでしょうか。それぞれ短所もあり何を根拠に探すかは大変難しい選択です。現実

には入居料や管理費が支払い可能かという費用の面で選択する場合も多いと思われます。しかしもう一歩踏み込んで、本人の意向に沿って例え贅沢でなくとも快適な終の棲家であることを重視したいものです。

都会が好きな人はアクセスのよい場所を、田舎で畑をしながら暮らしたい人は遠くても自然豊かな場所を、趣味趣向の合う人間同士の関係を重視し、共同施設の設定の良い所、と選ぶ選択肢も紹介されていました。

急速に超高齢化社会に突入する日本では、今後様々なタイプの高齢者施設が建設、運営されると思います。『終わり良ければすべてよし』の諺もありますが、慎重に情報を集め、選択を誤らないようにしたいものです。

又、子供達や家族が容易に訪ねられる場所が選ばれるのは外国でも日本でも共通のようです。日々の世話は専門家にまかせても、身内が度々逢いに行くことで精神面の安定や親子の交流が保たれると思います。しかし洋の東西を問わず、元気に活躍できた壮年期に比べ、老後は精神、健康面において孤独な自分との戦いなのかもしれません。(西川 記)